

大阪経済記者クラブ会員各位

(同時提供先：森之宮記者クラブ、近畿建設記者クラブ、大阪建設記者クラブ)

大阪商工会議所×UR 都市機構 まちなかりビングラボプロジェクト

大阪城東部地区(UR 森之宮団地等)における実証実験

「データを活用した『みんなまち®プロジェクト』による エリア活性化」の実証実験を開始

【お問合せ先】

■大阪商工会議所 産業部 産業・技術振興担当(瀧本、門、西田)

TEL:06-6944-6300

■独立行政法人都市再生機構 西日本支社

都市再生業務部 事業企画課(壽賀、谷内、柏井、中山)

TEL:06-4799-1172

- **株式会社大林組** (代表取締役 社長 兼 CEO=蓮輪賢治、本社：東京都港区) は、**データを活用した『みんなまち®プロジェクト』によるエリア活性化の実証実験** (以下「同実証実験」) を実施する。同実証実験は、大阪商工会議所と UR 都市機構が公募した大阪城東部地区における実証実験に採択された事業の一つ。
- 近年、まちづくりにおいては、高齢化や核家族化の進展、価値観の多様化を背景に、住民ニーズの的確な把握と対応が求められている。また、地域コミュニティの活性化や住民の愛着醸成の重要性が増していることから、住民参加型のアプローチに関心が高まっている。
- そこで同実証実験では、大林組が運営するマッチングプラットフォーム「みんなまち®SHOP」を活用する。「みんなまち®SHOP」は、生活者とサービス提供事業者・スペースを結びつけるプラットフォームであり、**事前の住民ヒアリングに基づいた多様な体験型ウェルビーイングサービス** (健康関連講座やスマホ講座、マッサージなど) を提供する。
- 実証期間は、2025年2月10日から2月21日まで。実験では、各サービスの利用状況やアンケートの結果に加え、サービス提供時の住民同士の交流状況の把握や利用者インタビューを通じ、**地域コミュニティの活性化に対する有効性と住民ニーズの把握手法を検証**する。
- 大林組は、同実証実験の結果を踏まえ、プラットフォームの改良を進め、2025年度以降の本格展開をめざす。さらに、新たなまちづくりが進む大阪城東部地区のコンセプト「大学とともに成長するイノベーション・フィールド・シティ」の実現に向け、**プラットフォームから得られるデータを活用し、地域課題の発見や課題解決型イノベーションの創出につなげる方法を検討していく。**

【実証実験の概要】

1. **実施期間**：2025年2月10日(月)～2月21日(金)

※土日祝除く。各体験型サービスの事前予約期間：2025年2月3日～2月7日

2. **実施場所**：UR 森之宮団地およびUR 森之宮第2団地 (大阪市城東区森之宮) の各集会所

3. **実施主体**：株式会社大林組

代表取締役 社長 兼 CEO 蓮輪 賢治

本社：東京都港区港南2丁目15番2号

■実証実験の目的

高齢化や核家族化、価値観の変化による住民ニーズの多様化への対応や、地域への愛着醸成などを目的に住民参加型のまちづくりが注目されている。そこで、同実証実験では、団地住民への各種体験型サービスの提供を通じ、住民同士の交流を促し、地域コミュニティの活性化につながる体験型サービスの種類や、関心度に応じた住民セグメント、および住民ニーズをより具体的に把握するための手法を探る。

提供サービスの利用状況、住民の反応、エリア情報を分析することで、住民の日常生活における行動やニーズを起点とした新しいまちづくりの手法の確立をめざす。

■実証内容

2024年10月、住民が求めるサービスや生活課題について団地住民を対象にヒアリングを実施。その結果に基づき、大林組が運営する生活者とサービス提供事業者とのマッチングプラットフォーム「みんなち®SHOP」を通じて、団地住民に向けた体験型ウェルビーイングサービスを提供する。同実証実験では、各サービスの利用状況やアンケート結果に加え、サービス提供時の住民同士の交流状況の把握やインタビューを通じてデータを収集する。

これらのデータを基に、参加者の年齢や職業、興味関心などの属性に基づき、複数の住民セグメントに分類し、各層の住民ニーズを把握するとともに、住民同士の交流促進や地域コミュニティ活性化に対する同プラットフォームの有効性を検証する。



▲同実証実験で提供予定のサービスイメージ

■今後の展望

大林組は、同実証実験の結果を踏まえてマッチングプラットフォーム「みんなち®SHOP」の改良を進め、2025年度からの本格展開をめざす。まずは、大阪城東部地区をはじめ、各地域でのプラットフォームの利用促進を働きかけ、同プラットフォーム提供範囲の拡大を図る。さらに、住民参加型のまちづくりを推進するため、同プラットフォームで蓄積されるデータの利活用にも取り組む。

特に、新たなまちづくりが進む大阪城東部地区では、同プラットフォームで得た様々な地域データを基に、潜在的なエリア課題の発見や新たな課題解決型イノベーションの創出をめざす。

「みんなち®SHOP」がソーシャル・イノベーションを創出する基盤として活用されることで、大阪城東部地区のまちづくりコンセプト「大学とともに成長するイノベーション・フィールド・シティ」の実現に貢献できるよう取り組みを進める。

(参考) ◆大阪城東部地区 (UR 森之宮団地等) における実証実験の公募について

大商とUR都市機構は共同で、2024年3月26日～5月10日まで、将来の大阪の「ヒガシの拠点」として注目を集める大阪城東部地区にあるUR都市機構旧森之宮庁舎、UR森之宮団地、UR森之宮第2団地を活用した実証実験を募集した。多様な人々が共存するUR森之宮団地等で、「あたらしい関係や交流の形成」を促進し、「あたらしい価値の創出」を目的に先端技術を活用した実証実験の公募を行い、14件を実証実験実施候補として採択した。採択後、実施を辞退した2件を除く12件について、2024年度内に実証実験を実施する。

【実証実験公募採択時のプレスリリース、2024年6月28日】

https://www.osaka.cci.or.jp/Chousa_Kenkyuu_Iken/press/20240628UR14.pdf

以 上